

長野県信濃美術館 企画展 ● 高校生以下無料

ありがとう、さようなら信濃美術館 休館前の最後の絵画展  
花ひらくフランス風景画

珠玉の名品

ミレー/コロー/シスレー/モネ

4/15[土]—6/18[日]

\*休館日=毎週水曜日(ただし5/3は開館)

自然の姿を描いた風景画はとて親しみやすいものです。しかし、今でこそ人気を博すバルビゾン派や印象派の画家たちが、19世紀フランスに台頭した当時、彼らは世に認められませんでした。17世紀の宗教画や神話画に起源をもつ西洋風景画の展開をたどる本展は、バルビゾン派や印象派の魅力を再確認する試みでもあります。西洋風景画の展開の物語を彩る珠玉の名品の数々をご覧ください。

観覧料● 大人1,200(1,100)円、  
大学生1,000(900)円

\*東山魁夷館と共通料金=大人1,500円、大学生1,100円(5/31~東山魁夷館は休館)



クロード・モネ(アムステルダム港)  
1874年、ヤマザキマサツク美術館



ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー  
(サンニコラ＝レザラスの川辺)  
1872年、山寺 後藤美術館



コムバック・ウィンザーチェア  
イギリス 18世紀  
日本民藝館

ウィンザーチェア  
日本人が愛した英国の椅子

7/1[土]—8/27[日]

\*休館日=毎週水曜日(ただし8/16は開館)

ウィンザーチェアは、17世紀にイギリスで生まれたとされる木製の椅子です。座面も背もすべて木で作られ、シンプルで美しく機能性を兼ね備えています。日本でも民藝運動の中で注目され、現在も各地の作り手によって制作されています。本展では、英国ウィンザーチェアの傑作を、他の国の椅子などともかかっている規模で展覧し、自然の材料と確かな手法による造形美を紹介します。

観覧料● 大人800(700)円、大学生600(500)円

※観覧料の( )内は20名以上の団体料金。  
※観覧料金・観覧料・会期・展示作品等は、やむを得ぬ事情により変更することがあります。

信濃美術館クロージング  
ネオヴィジョン新たな広がり

9/16[土]—9/30[土] \*休館日=毎週水曜日

観覧料● 大人800(700)円、大学生600(500)円

【第一部】● 建築 信濃美術館と林昌二

長野県信濃美術館は、高度経済成長期のオフィスビル設計をとおして、日本の街づくりに大きな業績を残した株式会社日建設計の建築家・林昌二氏(1928-2011)による建築です。現存数が少なくなった林設計の「HPシェル(双曲放物面シェル)構造」の美しい曲面の組み合わせによる特徴的な外観は、その後の増改築を経て、今日まで時代のモダニズム精神を伝えています。第一部では、「構造」と「テクスチャー(質感)」の2つのテーマに焦点をあてながら、建築の側面から信濃美術館を振り返ります。



開館当時の長野県信濃美術館講堂  
提供:株式会社日建設計 撮影:村井修

【第二部】● コレクション 私の、この一点

長野県信濃美術館には、絵画、彫刻、工芸、資料など約4000点のコレクションが収蔵されています。そこから選び抜かれた作品の中から、みなさまが見たい「この一点」を、館内コピーや当館ホームページで募集しています(平成29年6月末までの予定)。第二部では、多くの票を集めた作品を中心に、お寄せいただいたコメントとともにコレクションの名品を展示します。

●「私の、この一点」投票ページ(長野県信濃美術館HP内)  
<http://www.npsam.com/collection>

【第三部】● 7人の若手作家

信州は古くから、多くの芸術家を輩出してきました。現在でも数多くの美術作家たちが国内外で活躍しています。

第三部では、新しい美術館へ向けて、信州の美術のこれからを担う若手作家を、絵画、写真、彫刻、陶芸、インスタレーションなど、様々なジャンルの作品から紹介します。また、会期中には作家による様々なパフォーマンスや公開制作などを予定しています。



上田暁子(モーニングキス)2015年 絵画



坪内真弓(流線のざわめき)2015年 陶芸



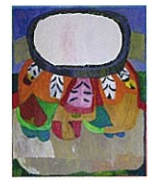
下平千夏(エーテル(ether))2016年  
犬島家プロジェクト C部 インスタレーション



穂田優(写真へのメモランダム)展示風景  
2017年 写真



北村佳奈(stranger)2015年  
絵画



倉石大次郎(アフリカ)  
2014年頃 絵画



新村優子(居るところ)  
2012年 彫刻

東山魁夷館 高校生以下無料

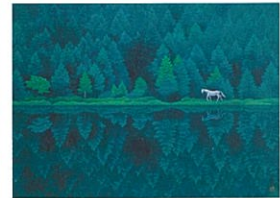
東山魁夷館改修前特別展

東山魁夷 永遠の風景  
—館蔵本制作一挙公開—



3/30[木]—5/30[火] \*休館日=毎週水曜日(ただし5/3は開館)

東山魁夷館が開館したのは、いまから27年前。彼が東京美術学校1年生の時に出会った長野県に自身の作品を寄贈したところから始まりました。苦しい時代を乗り越えながら、90歳で亡くなるまで第一線を走り続け、日本や世界各地の自然を描きました。現在、東山魁夷館が所蔵する本制作は34点。今回はこの代表作すべてを一堂に会し、東山魁夷が描いた風景をご覧ください。



東山魁夷(緑谷)1982年

観覧料● 大人500(400)円、大学生300(200)円

美術団体等による展覧会

長野県書道展 9/3[日]—9/10[日] ☎026-292-0449(川村)

\* 展覧会内容・観覧料については各団体にお問い合わせください。  
\* 展覧会初日及び最終日は、入場時間が変更となる場合があります。

長野県信濃美術館移動展

所蔵品より多くの県民の皆さまにご覧いただくため、県内各地で「移動展」を開催しています。  
\* 観覧料・開館時間等、詳細は長野県信濃美術館までお問合せください。

- 10/4(水)—10/9(月・祝) 東御市梅野記念絵画館・ふれあい館(東御市)
- 10/21(土)—11/19(日) 長野県伊那文化会館 美術展示ホール(伊那市)
- \* 伊那会場は、東山魁夷館所蔵品を展示します。
- 11/12(日)—11/18(土) 遠山郷土館 和田城(飯田市)
- 2018.1/20(土)—1/28(日) 松川村多目的交流センター ずすの音ホール(松川村)

特別イベント

アンデパンダン展 in 長野県信濃美術館

2018.2/27[火]—3/4[日] 観覧料無料 県内在住の方々の作品を公募し、展示します。

公募についての詳しい情報はHPでご確認ください。  
<http://www.npsam.com>

解体直前 アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館

\*休館日=毎週水曜日 観覧料無料

公開制作 2018.3/5[月]—3/23[金] 発表 2018.3/24[土]—3/31[土]

若手作家を公募し、解体工事直前の信濃美術館で公開制作・作品発表を行います。期間中は、子どもから大人までご参加いただけるワークショップも開催します。

■ 休館日 ■ 花ひらくフランス風景画展 ■ ウィンザーチェア展 ■ クロージング展 ■ 東山魁夷 永遠の風景 ■ 貸館(長野県書道展)

長野県信濃美術館														東山魁夷館																																													
2017.4														2017.5																																													
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日																														
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31